

加藤・厚生労働大臣がプロジェクトのカウンターパートを訪問！
(2023年5月5日)

SATREPS プロジェクトのメインカウンターパートであるベトナム国立熱帯病病院（NHTD）を加藤・厚生労働大臣が訪問されました。同大臣の東南アジア歴訪・ベトナム訪問の中で、NHTD を訪問してくれたことにカウンターパートも感激していました。

短い時間ではありましたが、NHTD の機能・役割についての紹介、現在実施中の国際協力・日越間協力について NHTD の Dr. Giang (SATREPS プロジェクトコーディネーター) が紹介し、今後の日越間医療分野・感染症分野についての協力についても双方から意見が交わされました。その後は、病院内の ICU（集中治療室）、検査室などを見学し、現在の同病院における感染症対策の現状、そして日本からの支援がどのように役立っているかを実地で確認頂いています。



病院側との意見交換の席で発言する加藤厚生労働大臣



NHTD 検査室にて設備などを見学

* 写真は [ベトナム保健省ウェブサイトでの報道](#) より

NHTD 幹部との意見交換の中では、JICA、AMED（日本医療研究開発機構）の共同プロジェクトとして、国立国際医療研究センター・エイズ治療開発センター（ACC）、熊本大学が実施する本 SATREPS プロジェクトについても報告がされ、今後の確実な進捗に期待する旨、加藤大臣からも発言を頂きました。今年は日越外交関係樹立 50 周年を迎え、各種ハイレベルの訪問も増えています。記念すべき一年の中でも着実な成果達成に向け、プロジェクト最終年度も頑張っていこうと思います！